

平成 21 年度 福井県立大学大学院  
経済・経営学研究科博士前期課程  
入学者選抜試験問題(第 1 次)  
専門科目  
経済理論・経営理論分野

以下の問 1 と問 2 から 1 問を選んで解答しなさい。

問 1 (経済理論) 以下の (1)、(2) の問に答えなさい。

- (1) 大学の学期末試験において、カンニングなどの不正行為を行った者に、当該授業科目の単位だけでなく、その学期に履修するすべての授業科目の単位を認めないとする措置の経済学的意義を述べよ。
- (2) 消費性向、利子率、投資、輸出が一定で、輸入性向が上昇するとき、雇用にどのような影響があるか。

問 2 (経営理論) 企業は市場において経済活動を行ない、利益というかたちの成果を獲得しようとする。その際、他企業に比較して何らかの優位な部分を持てば、より確かな成果獲得が約束され、企業成長の可能性も高まる。そこで、グローバル化の下での厳しい競争にさらされる現代企業にとって、こうした競争優位性の構築は大きな課題の一つになる。

では、今日の企業環境の下、企業活動に関する基本的要素についてどのような要件が満たされれば競争優位性の構築に近づくといえるか、自らの考えを述べよ。なお、ここでいう企業活動に関する基本的要素としては、たとえば市場、顧客、商品、商品ライフサイクル、市場シェア、事業、価格設定、商品の売り方・提供の仕方、企業間関係の組み立て方、生産から販売までに要するスピード、などがあげられるであろう。ただし、例示した企業活動の基本要素は、すべてについて触れなければならないということではない。このうちどれを取り上げても(例示以外のものでも可)、あるいはいくつ取り上げてもよい。